

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浜松日本語学院 新校舎建設工事	階数	地上8F 地下1階
建設地	静岡県浜松市中区中央3丁目110番	構造	S造
用途地域	都市計画区域 東第二地区計画 教	平均居住人員	418 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,928 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021年1月 予定	評価の実施日	2019年11月1日
敷地面積	643 m ²	作成者	山田紘子
建築面積	395 m ²	確認日	2019年11月1日
延床面積	3,165 m ²	確認者	山田紘子



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。		その他 0
Q1 室内環境 開口部遮音性能に優れ、交通騒音などの外部騒音の侵入を防いでいる。常に光が入る明るい教室に設計されている。また、ブラインドとスクリーンを組み合わせることで日光を制御している。	Q2 サービス性能 内装仕上げ材、配管共に更新間隔が長く長く使うことができる。キュービクル・地下排水ポンプを設置しており、電気設備への信頼性が高い。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により良好な景観を実現している。
LR1 エネルギー LED照明を採用し、エネルギー消費量の削減に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓を使用することによって節水を実現している。LGS工法、OAFロアによって部材の再利用可能性向上を実現している。	LR3 敷地外環境 駐車スペースを確保し、路上駐車を発生させないようにしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	浜松日本語学院 新校舎建設工事	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価			
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.2	/5				ふつう
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.6	/5				がんばろう
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	3.0	/5				ふつう
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.1	/5				がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目			
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。					
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)		得点	3.2		
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ③ブラインド+スクリーンを設置している。 ④タイルカーベットの更新必要間隔20年。 硬質塩化ビニル管を使用。	Q-1 2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
	Q-1 3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
		3.2	3.2.1	③	昼光制御
	Q-2 2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
		2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
	2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
	2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔		
	2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔		
	2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔		
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1			⑤	生物環境の保全と創出
	3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)	LR-1 1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制
	2			⑧	自然エネルギー利用
	3			⑨	設備システムの高効率化
	4	4.1		⑩	モニタリング
		4.2		⑩	運用管理体制
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪洗面器に自動水栓設置。 ⑫高炉セメント・磁器質タイルの採用。LGS工法、OAエリア	LR-2 1	1.1	⑪	⑪	節水
		1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
			1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
	2	2.1	2.1.1	⑫	材料使用量の削減
		2.1.2	⑫	⑫	既存建築躯体等の継続使用
		2.1.3	⑫	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
		2.1.4	⑫	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
		2.1.5	⑫	⑫	持続可能な森林から産出された木材
		2.1.6	⑫	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み
	3	3.1	⑬	⑬	有害物質を含まない材料の使用
		3.2	3.2.1	⑬	消火剤
		3.2.2	⑬	⑬	断熱材
		3.2.3	⑬	⑬	冷媒
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3 1			⑭	地球温暖化への配慮
	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	得点	2.6			
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰キュービクル、地下排水ポンプあり。	Q-2 2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
			2.1.2	⑯	免震・制振性能
		2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備
			2.4.2	⑰	給排水・衛生設備
			2.4.3	⑰	電気設備
			2.4.4	⑰	機械・配管支持方法
			2.4.5	⑰	通信・情報設備
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	得点	3.0			
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)	Q-2 1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
	3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり
			3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ
■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	得点	2.1			
■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1			⑳	生物環境の保全と創出
	2			㉒	まちなみ景観への配慮
	3	3.2		㉓	敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (㉔温熱環境悪化の改善)	LR-3 2	2.2		㉔	温熱環境悪化の改善